

## I-11. 北海道総合開発計画に係る指標調査等業務

The indicators Survey of Hokkaido development plan ·  
in Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

**キーワード**  
**Key Word**

北海道総合開発計画、指標、モニタリング  
indicators survey、Hokkaido development plan

## 1. 調査の目的

北海道では、北海道開発法に基づき、地域資源・特性を活かして我が国が直面する課題の解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図るため、国が北海道総合開発計画を策定している。特に、近年は、本格的な人口減少時代の到来、アジア市場を始めとしたグローバル化の更なる進展、東日本大震災など、北海道開発をめぐる情勢が大きく変化する中で、北海道総合開発計画は前倒しで改定され、平成28年3月に第8期北海道総合開発計画が閣議決定されている。

第8期計画では、北海道の強みである「食」と「観光」を戦略的産業として育成し、豊富な地域資源とそれに裏打ちされたブランド力など、北海道が持つポテンシャルを最大限に活用することにより、2050年の長期を見据えて「世界の北海道」を目指すこととし、計画では「生産空間」を支えるための重層的な機能分担と交通ネットワーク強化、農林水産業の競争力・付加価値の向上及び世界水準の魅力ある観光地域づくり、地域づくり人材の発掘・育成を重点的な取組としている



出典)国土交通省 HP

このような中で、本調査では、第8期北海道総合開発計画の進捗状況を把握するために、計画に関連する指標のデータ収集及び分析を行った。

## 2. 調査研究成果概要

## (1) 調査の構造と内容

本調査研究は、指標のデータ収集とその分析からなる。

## ① データ整理

国土審議会北海道開発分科会で協議された指標に基づき、最新の公表資料等からデータを収集し、以下の項目について整理した。整理、分析した項目は以下のとおり。

また、この個票をもとに指標の一覧表を整理した。

- データの定義、出典(統計名等)、所管、URL、更新頻度
- 同種の全国データの出典(統計名等)、所管、URL
- 他計画で、対象データがKPIに設定されている場合の計画名、所管、目標値、目標年
- データの推移を表すグラフ、表
- その他、特記事項

## ② 動向分析

さらに、指標の動向について、主な変動要因を文献、新聞記事等に基づき分析した。

## (2) 主な成果

## ① 北海道総合開発計画に係る基礎データを収集、整理したこと

近年、行政計画においては、PDCAサイクルを確立し、目標に対する進捗状況を適切に把握することが求められているが、本調査ではそのための基礎データを網羅的に収集した。今後の計画期間

においても、これらのデータをアップデートし継続的にモニタリングをすることが可能となった。

また、次年度以降、目標を実現するための施策体系を定量的に分析する構想があり、そのための基礎データとしても活用可能性が期待できる。

## ②指標の主な変動要因が分析されたこと

本調査業務では、基礎データの収集とともに、中長期(10 ヶ年程度)及び短期(数年程度)の主な変動要因を、文献等に基づき整理した。近年の北海道を取り巻く状況の変化とその要因を幅広く分析できた。